

探偵社調査員が詳細報告!

家庭の主婦が家事労働や子育てによるストレスから浮気に走ることはよく取り沙汰されている。では、家の外へ出て闊達と仕事をしている人妻たちはどうなのだろうか? 家庭と仕事の両立だけで大変なはずなのだが、その実は相当な割合で婚外セックスに励んでいることが、探偵社の調査によって明らかにされた。緻密な追跡と数々の証拠による人妻たちの不倫の実態をここに紹介する!

職業人

人妻看護婦の浮気は多い。勤務時間が不規則で夜勤もある。それを隠れ蓑として浮気をすることができるところからだ!

「突然、女房が高校時代の友だちと旅行に行き出しましたね。たぶん嘘でしょう。今までそんな友だちの存在すら知らされてませんでしたから。あそこ、あの医者と一緒に行くに違いない。是非、証拠を掴んでください!」

医者と看護婦 一泊二日の不倫旅行

依頼人の夫は兼ねてから看護婦をしている妻が不倫しているのではないかと疑っていたようだった。突然、友人と旅行に行くと言い出したので、証拠を押さえる絶好のチャンスと依頼してきたのだ。

30代人妻ナースの 東京、大阪遠距離不倫

その奥さんは30代半ばの看護婦だった。夫からの依頼を受けて調査に乗り出す。まず最初に行うのは携帯電話のチェック。これは浮気調査のいろはの「い」、つまり基本である。奥さんが持っている間に夫に携帯電話を持ち出してもらってパソコンについて履歴をコピーした。



依頼者と同じ旅館に泊まって証拠を揃って欲しいと言われればそうするし、ただ旅館に入るところと出てくるころを揃って欲しいといわれれば、車の中で一夜を過ごして翌日の朝、旅館のロビーで調査対象者を待つ。今回は夫が離婚を決意して、同じ旅館に泊まっていた二人の様子を隠し取り外は部屋の外には出て来なかった。

依頼者と同じ旅館に泊まって証拠を揃って欲しいと言われればそうするし、ただ旅館に入るところと出てくるころを揃って欲しいといわれれば、車の中で一夜を過ごして翌日の朝、旅館のロビーで調査対象者を待つ。今回は夫が離婚を決意して、同じ旅館に泊まっていた二人の様子を隠し取り外は部屋の外には出て来なかった。

依頼者と同じ旅館に泊まって証拠を揃って欲しいと言われればそうするし、ただ旅館に入るところと出てくるころを揃って欲しいといわれれば、車の中で一夜を過ごして翌日の朝、旅館のロビーで調査対象者を待つ。今回は夫が離婚を決意して、同じ旅館に泊まっていた二人の様子を隠し取り外は部屋の外には出て来なかった。

浮気妻の行動パターン

帰宅時間が遅くなった、携帯電話がつかない時がよくある、服装が派手になった、最近化粧が濃くなった、浮気妻は行動や服装をチェックしてみると不審なところが多々あるものである。また、仕事と家事でただでさ忙しいのに不倫相手とエッチする時間も作らねばならないのでどこかにそのしわ寄せがくる。たとえば、食事を作る手間を省くため惣菜屋のおかず、冷凍食品、レトルト食品を利用する。掃除も手抜きなので部屋の隅をチェックすると結構ゴミが残っている。今まではYシャツは自分でアイロンしていたのに最近はクリーニング屋に頼んでいる。

夫の両親と同居している場合だと、デパートで買い物したいとか、学生時代の友人が出てくるのでとか適当な理由をつけて子供を預けるなど今まで夫の両親と疎遠だったのに急に親しくなったりする。結局のところ浮気に費やす3、4時間をどう捻出するのかで人妻は頭を悩ますのである。

看護婦 既婚OL 生保レディ... Fickleness investigation

妻たちの浮気調査

不倫相手の氏名聞き出す 恋占い作戦が大成功

さらに調査を続けていくうちに、奥さんが車で1時間半もかけて頻りに行かまるところがあることが分かった。保険の外交は通常、担当するエリアが決まっている。車で1時間半もかかる遠出は珍しい。しかも、それがほぼ一日おきて、時間帯も夕方から夜にかけてというのは保険の営業活動と考えるのには極めて

調査を始め一週間、なかなか確証がつかぬ。保険の外交という仕事柄、あちこち動き回って、仕事をしているのが遊んでいるのか分からないのだ。ただ週に2、3日、夜訪れるところがあって、そこにいる時間も夜の9時から深夜の1時までと決まっていた。調べてみるとそこはスナックだった。奥さんは夫に内緒でスナックでアルバイトをしていたのだ。

その夫婦は20代半ばで同じ職、職場で知り合い、デキちゃった結婚。妻は出産後、保険外交員として働き出さずにはなるが、その頃から夫婦関係がギクシャクし始めて現在、別居中というのが、妻の養育費を依頼しに来た夫の説明だった。たまたま男がいたとしてもその相手と別れて自分のところに戻って来て欲しいというのが夫の希望だった。しかし、調査が進むにつれて夫も、われわれ調査員も想像もなかった事実が次々と明らかになった。

「いい人いるんですよ。相性でも占ってあげようか?」

「ここに相手の名前と生年月日を書いてよ」というと、奥さんは簡単に男性の名前を書いた。驚いたことに一人ではなかった。二人分の名前を書いたのである。その中には夫の名

「あなたにはもう一人、男の陰が見えますよ」と聞いた。すると奥さんは最初はいやな顔をしてはいたが、夫の名前を「ニシヤル」で書いた。調査は満を持して、

「あなたが一番好きなのは最初に名前を書いた人ね。でも本当はあなたのことを大切にしてくれるのは、最後に書いた人です。」



顧客との肉体接待もあり?

働く人妻が浮気に走る理由 働く人妻は家事と仕事、人によっては育児の3つを両立させなければならず、これは大変なことである。夫の協力なしでは妻は孤独になりストレスも溜まる一方。そんな時、職場で優しい言葉の一つでもかけられ、食事に誘われ、ほろ酔い気分になれば、現実からの逃避という意味で浮気に走る可能性が高くなる。また、結婚してずっと専業主婦をしていた人妻が何年ぶりかで仕事を始める場合は、それまでの不自由な生活から一時的に解放されて大胆な行動に出ることもある。いずれにしても夫婦関係が良好であれば起こり得ないことである。浮気妻の家庭環境を調べてみると夫が専業主婦でDVもあるなど夫側にも原因がある場合が少なくない。

「あなたにはもう一人、男の陰が見えますよ」と聞いた。すると奥さんは最初はいやな顔をしてはいたが、夫の名前を「ニシヤル」で書いた。調査は満を持して、

「あなたが一番好きなのは最初に名前を書いた人ね。でも本当はあなたのことを大切にしてくれるのは、最後に書いた人です。」

人妻キャバ嬢が車の中で車体激震のハードセックス

このケースでは夫が自分で調査してある程度は調べられていた。妻は二十代半ばのキャバ嬢。帰宅が遅いのはしばしば、となれば夫も黙ってはいられない。何度も妻を問いだしたが、いつも決まっています。

キャバクラ嬢 その2

やらせる書にはトコトンやらせる! 人妻キャバ嬢ラブホで二日連続チャン

自分の奥さんがクラブやキャバクラで働いていると、夫はどうしても異性関係に敏感になる。キャバクラ嬢の夫が元馴染み客というようなケースも多々ある。その場合はなおさらである。しかしながら、生活費の中で奥さんの稼ぎが占める割合が高いと、異性関係についてあまり強く言えないのが実情だ。

出会う男のバクシンも多口説かれることが当たり前の人妻キャバ嬢は仕事を忘れて



美容師

30代姉さん女房の美容師は白昼手をつないでラブホに消えた

浮気のしやすい職業というのは確かである。たとえば美容師。帰宅が遅くなったとしても閉店後にカットの練習をして遅くなったとか言い訳がしやすい。また、美容室は火曜日や休みのところが多いので、夫が土日休みならば休日はずれになる。つまり、妻の休日は一人で自由がきく。その夫は年下だった。妻は

事務系OL

人妻OLが肉欲にハマる相手は上司、同僚、取引相手の順である

調査対象は会社勤めをしている20代後半の人妻、百合子(仮名)だった。依頼者の夫は妻の携帯電話をチェックして相手の名前までは分かったが、その男が独身のなか所帯持ちなのかを詳しく情報を探るにはいかなかった。通常、働いている人妻の調査する場合、勤め先を調査するところから尾行を始める。不倫相手と一緒に会社から出てくる

大学講師

有名大学の教授が教え子の人妻と隠れ家不倫

依頼者の夫はかなり前から妻の浮気に感じていた。研修会、慰安旅行などの名目ではばば外泊することもあったからだ。妻は有名大学から大学院に進み現在は大学の講師。不倫の相手は大学教授。二人はかつて先生と教え子の関係だった。専攻分野が同じなので

残業・夜勤・講習...あらゆる理由をつけて束の間の時間と男と逢瀬を重ねる不倫妻

仮に実家の現場を押さえたとしても、研究上の課題を議論しあっていたか言い訳はいくらでもつく。法的な証拠には一人がラブホテルに入るなどの写真や映像が必要だったが、調査してみると意外な事実があった。不倫相手の教授は自宅と大学が離れている

も妻が帰宅せずコココムを使って居場所を突き止めた夫はそこに向かうが、妻は車の中にはいなかった。食事をしていないのかもしれない。やはりアフターのなか。しかし、どうしても気になる相手がいる。どうやら妻は車でもその男を送って行くらしい。相手がどこに往いているのかは見当がつかないが、それ以上のことは分からず、探偵社を訪れたのだ。

「相手の男の身元を調べて妻とどのような関係なのかを調べて欲しい」

二人はマックに入った。その後はキャバクラ嬢を車で送るのが、それと同伴に付き合うのと同じかと思っていたら、なんと再びラブホテルに行ってしまった。ダブル不倫なのに二日連続とばかりはびりである。

働く人妻はなぜか5、6年目の浮気する

結婚して5、6年目に浮気に走る人妻が多い。浮気妻の結婚年数を調べてみると、1位が5~6年、2位が3~4年、3位が7~8年。結婚して5、6年といえは新婚時代の甘い生活は遠い昔のように感じられ始める頃である。子供が幼稚園や保育所に通い育児も一段落。多少自由な時間ももてるようになって、自分を見つ直す機会も増える。再び仕事を始めようとするのもこの頃だ。女性はいくつになっても一人の女として見られたいという願望を持っている。だが、家庭では夫にママと呼ばれ、近所では×××のお母さんと言われて女としての自分は出産後ずっと封印されたまま。髪型を変えても夫にさえ気づかれないという哀しい現実もある。そういう状況で徐々に働き始めた職場で名前が呼ばれ、ファッションを誉められ、通勤の途中や職場で男性の視線に晒されることで次第に封印が解かれていく。浮気は人妻が女であることを自覚する瞬間でもあるのである。

人妻が浮気に走るきっかけが一番多いのはやはり出会い系サイト。携帯電話が一人一台の時代になって久しいが、そのお陰で不倫の出会いも増えた。探偵社に妻の素行調査を依頼しに来る夫のほとんどは妻の携帯電話の履歴やメールをチェックして行動に不信感を抱いている。人妻の不倫相手が一番多いのがトラックの運転手。次いで多いのが車のディーラーだ。いずれも外を飛び回る仕事なので時間が比較的自由に使える。人妻は会える時間が限られているから、会いたい時に会える人がいいのだろう。長距離トラックの運転手は、昔船乗りが港、港に女がいるなどと言われたように、全国に浮気妻をキープしている人も。人妻に限らず女性にはマメであることがモテる基本なのである。携帯電話は浮気の証拠の宝庫だが、履歴をチェックするまでもなく浮気のしっぽを掴むことができる。たとえば、鳴っているのにわざと出なかったり、夜、必要もないのにコンビニに出かけ後をつけて行く店外ですぐと携帯で話をしていたり、携帯の電話料金が突然大幅にアップしたなど。特に料金の明細書はボロが出やすい。しかし、用心深い人妻は不倫専用の携帯電話をもう一台隠し持っている、請求書の送付先を友人か実家にしてある。

同じ美容室に勤める同僚で、あることが分かった。二人が会うのは美容室が休みの火曜日に近い日。平日の家にないことが多いこと、また休日には携帯電話がつかないことがしばしばあったことなど、不信任を募らせていた。妻の携帯電話の履歴やメールのチェックは夫にしてみたら、調べていくうちに相手は



二人が向かった先はファミレスだった。1時間ほどで昼食を済ませるとその足でラブホテルへと歩きだした。時間は午後2時半過ぎ。夫が帰宅するのは決まって夕方6時前なので、その時間までに帰らねばならないはず。尾行しながら心なしか妻が早足に歩いていくように感じられた。

の夜7時過ぎだった。女性の調査員を伴って店に入って二人の様子をチェックする。浮気調査の場合、通常、張り込みや尾行は男女ペアで行う。ラブホテルを監視する時などは



怪しむまいとすむから。二人は2時間ほど酒を飲み談話した後、店を出た。そして、そこから徒歩7、8分ほどのところにあるラブホテルに入ってしまった。不倫セックスの場所は6割はシティホテルで4割はラブホテル。飲食する店から徒歩圏内にあるホテルを利用する場所が多い。タクシーを使ってもワンメーターぐらいの距離である。いくら遅くなくても人妻、終電で帰らなければならぬから駅から近いホテルは利用しやすいのだろう。

利用する場所がほとんどだが、ほかにもこのように自宅という場合もある。もちろん不倫相手が独身、あるいは妻がいても単身赴任の場合に限られる。たとえば、芸能人が大阪を拠点にして活動している人が東京にマンション、交通費や時間のロスを考えて東京にマンションを借りたりすることもあるが、写真週刊誌に借られるのはそのマンションの周辺である。自宅での密会だといふガードが甘くなるのか、一般の不倫カップルでもほとんど警戒されることはない。

ラブホテルを利用する場合、自宅での密会の違いは、ラブホテルに入るとはほとんどが盗撮カメラで撮影されているのに対して、不倫相手の自宅に来るといっては泊まりになることだ。

取材協力 ガルエージェンシー TEL.03 (3423) 2111 http://www.galu.co.jp 探偵調査会社の老舗。オーナーの渡邊文男氏は「完全探偵マニュアルWORST CASE」(しょういん)、「完全探偵マニュアルBEST+」(しょういん)、「探偵ファイル」(イーストプレス)ほか著書も多数。 日本調査情報センター TEL.03 (5804) 0771 新鋭の調査会社。浮気調査以外にもいろいろ戦略あり。たとえば浮気相手と別れさせる。妻の浮気相手に女性の工作員を接近させて密会現場を妻に見せて別れさせるなど奇抜なアイデアもウリだ。